# Blue-excess dust-obscured galaxies と JWST extremely red objects の

SED の相似性



登口 暁 (信州大学)



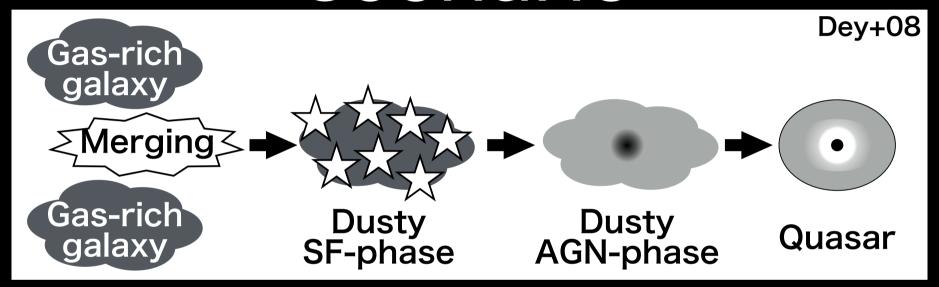
Similarity between compact extremely red objects discovered with JWST in cosmic dawn and blue-excess dust-obscured galaxies known in cosmic noon

Akatoki Noboriguchi (Shinshu U.) Akio. K. Inoue (Waseda U.), Tohru Nagao (Ehime U.), Yoshiki Toba (NAOJ), Toru Misawa (Shinshu U.)

Accepted by ApJL

arXiv: 2309.00955

# Gas-rich major merger scenario



クエーサーは超巨大ブラックホールを抱える天体

そのクエーサーの発現シナリオの一つが Gas-rich major merger scenario (Hopkins+08, Dey+08)

各段階を調べれば

どのようにして母銀河と超巨大ブラックホールが進化したかがわかるはず しかし、 dusty phase は可視で暗いために探査されづらかった

### Dust-Obscured Galaxies

とても赤い

definition

R - [24] 
$$\geq$$
 14.0 [vega mag]   
i - [22]  $\geq$  7.0 [AB mag]



number density

$$\log \varphi = -6.59 \pm 0.11 \, [\text{Mpc}^{-3}] \, \text{Toba} + 15$$

遠い

· redshift

$$z = 1 - 2$$

Dey+08, Toba+15



# Bump DOGs & PL DOGs

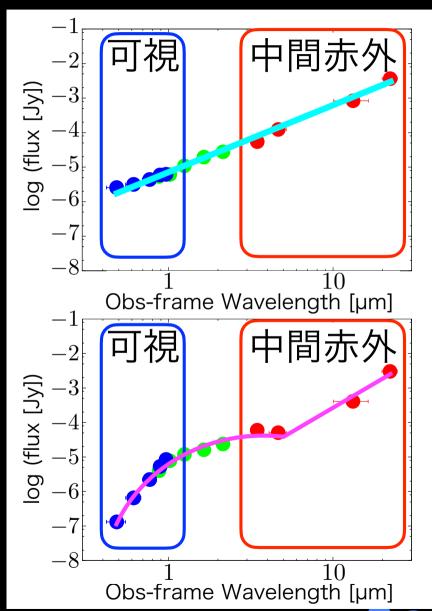
Spectral Energy Distributions (SED) の形より二つに分類可能 Dey+08

### Power-Law (PL) DOGs

- ·SED が power-law 的
- ・AGN 活動を示唆

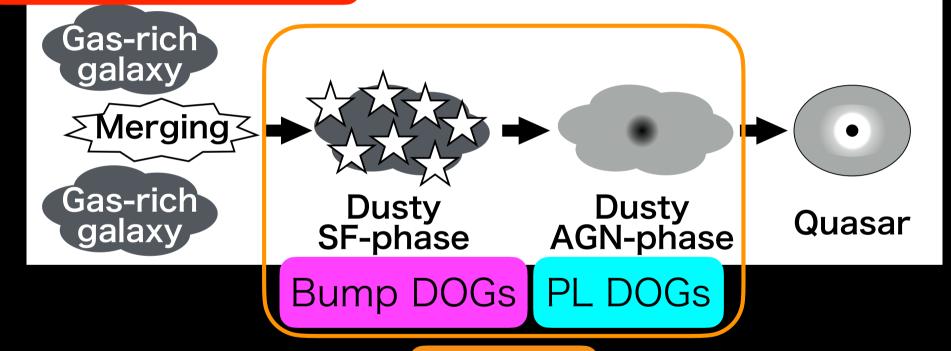
### Bump DOGs

- ·静止系波長 1.6 [µm] 付近に bump あり
- ・星形成活動を示唆



### DOGs の役割

Dey+09 のシナリオ



**DOGs** 

クエーサーの形成と進化を知る上で重要な天体

# 本研究目的

しかしながら...

- ・塵に覆われた AGN (PL DOGs) から塵の晴れた AGN (Quasar) に 進化するならその間の天体がいるはず
- ・Lifetime も短いと予想されるためこれまでは発見が難しかった (DOGs が ~100 Myr なのでそれ以下: Narayanann+10)

#### 本研究では

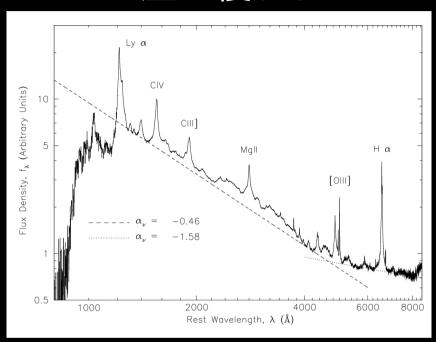
HSC-WISE の広域探査データをもとに

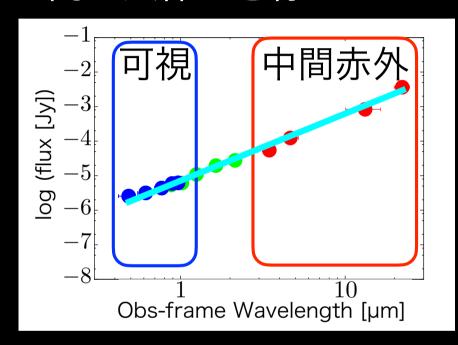
塵に覆われた AGN (PL DOGs) から塵の晴れた AGN (Quasar) に 進化する段階にいる天体の探査+性質調査を行った



# 研究手法

Quasar と塵に覆われた AGN の間の天体を想像してみる





SDSS qasar compo. sp. Vanden berk+01

可視光で青い天体かつ中間赤外線で明るい





# DOGs の選出

### **HSC** clean sample

VIKING clean sample

13,455,180

**ALLWIES clean sample** 

**HSC-WISE DOGs** 

9,439,990

16,680,947

Cross-match (radius ≤ 1")

1,534,327

 $(i - Ks)_{AB} \ge 1.2$ 

707,924

Cross-match (radius ≤ 3")

1,915

 $(i - [22])_{AB} \ge 7.0$ 

571

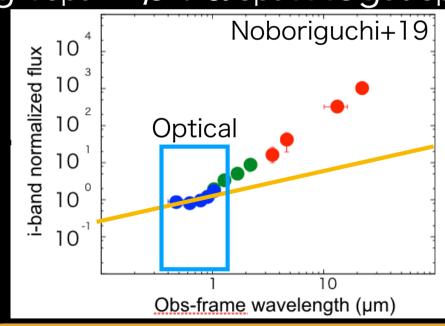
Cross-match の条件とカラーカットの条件は Toba+15 の選出方法を使用

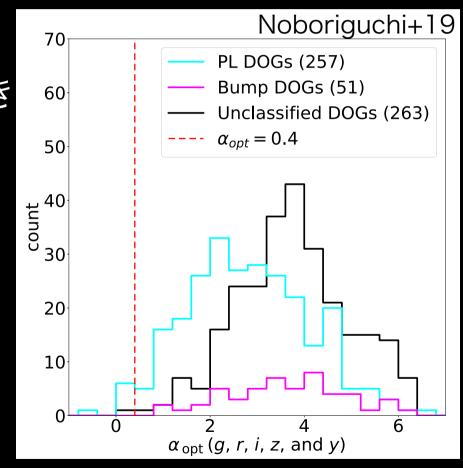
### Blue-excess DOGs

### Blue-excess DOGs (BluDOGs: Noboriguchi+19)

定義

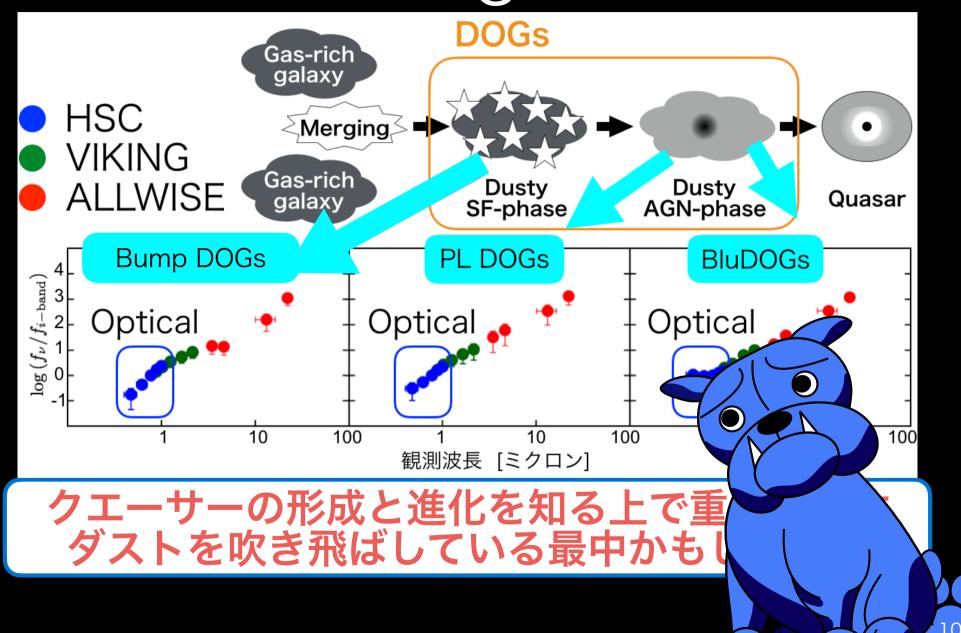
 $\alpha$  opt: 可視光 5 band に対して以下の式でフィットした時の傾き  $\log f_{opt} = \beta + \alpha_{opt} \times \log \lambda_{opt}$ 





571 天体の DOGs から 8 天体の BluDOGs を発見

### Gas-rich merger & DOGs



# 本当に可視光は AGN?

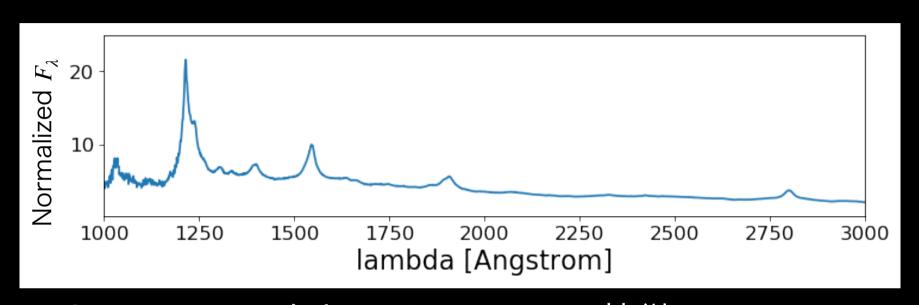
可視光分光データがないので起源がわからなかった 候補

- ・AGN からの漏れ出し光
- Starburst からの恒星の UV 光
- ・その他

Subaru/FOCAS と VLT/FORS2 で可視光分光観測を行い BluDOGs の性質 (SMBH 質量等) を調べる



## Quasar のスペクトル



Quasar スペクトル (Type-1) の特徴

- ・連続光は冪乗関数で表される
- ・輝線幅が 2000 km/s 以上の広輝線を持つ

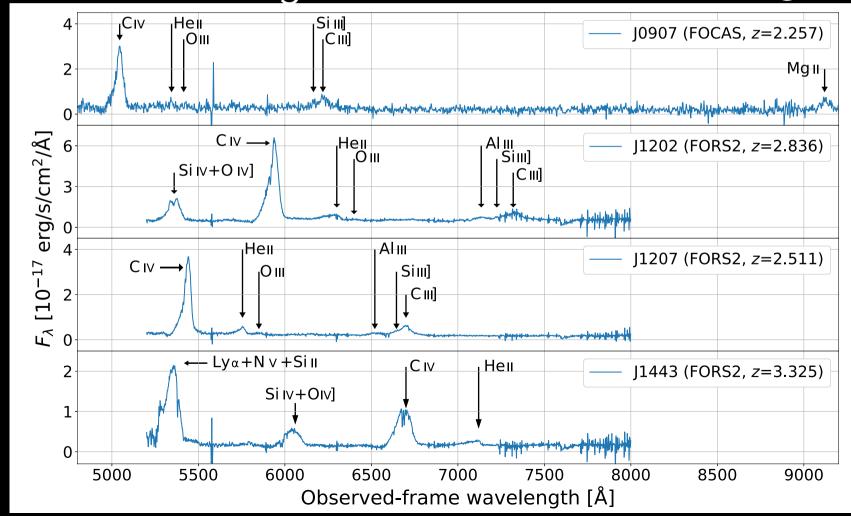


### 得られたスペクトル

BluDOGs スペクトルの特徴

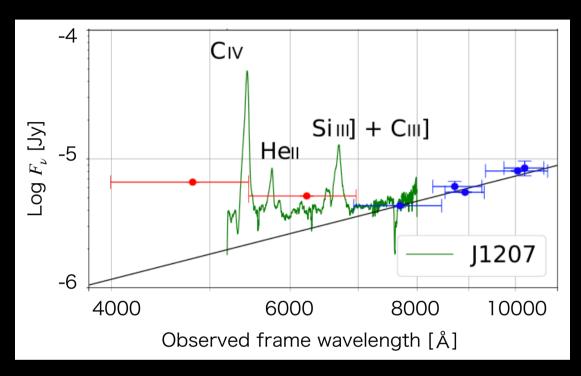
- ・非常に大きな透過幅を持つ広輝線
- ・CIV は blue wing を持っている

Noboriguchi+22





# Blue-excess の正体



Noboriguchi+22

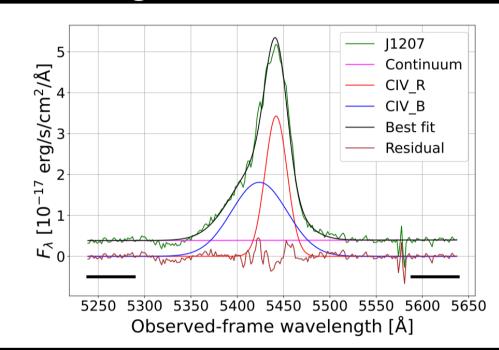
- ・AGN のスペクトルが見えたので青い光の起源は 中心から漏れ出している AGN 光
- ・ただ、**連続光の寄与**だけでなく 等価幅の大きい広輝線の寄与も大きい

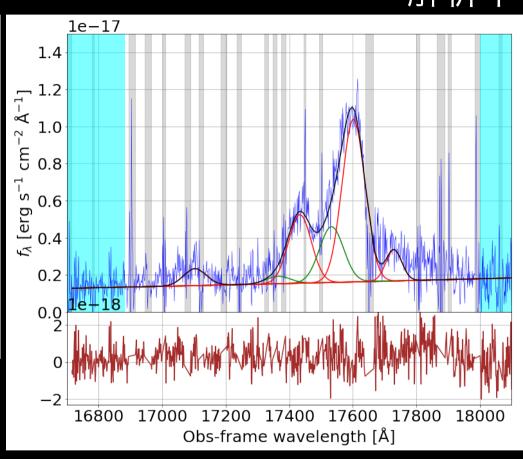


### アウトフロー

Noboriguchi+22

解析中

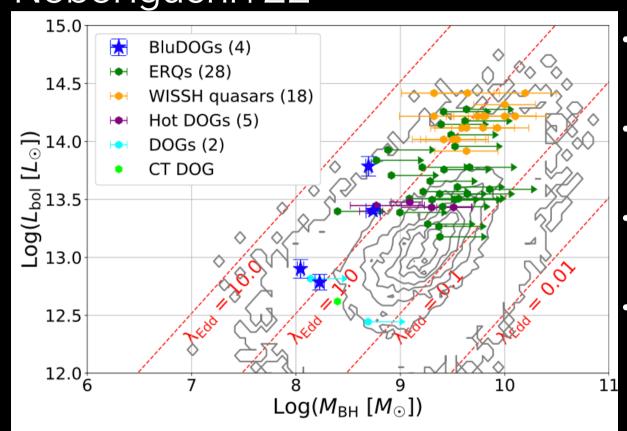




- ・CIV 輝線は blue-tail を示す -> nucleus outflow
- ・[OIII] 輝線も blue-tail を示す -> host gal. scale outflow

# $M_{ m BH}$ vs. $L_{ m bol}$

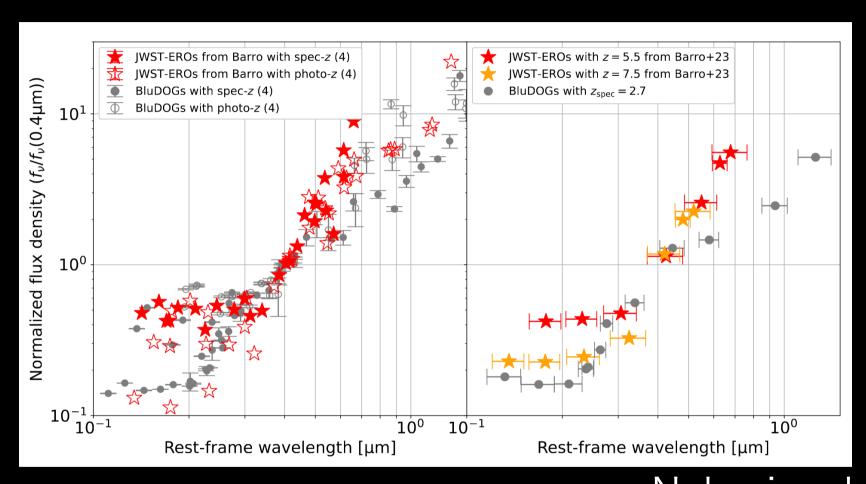
Noboriguchi+22



- Extremely red quasar (ERQs; Perrotta+19)
- WISSH quasar (Bischetti+17)
- · Hot DOGs (Wu+18)
- DOGs (Melbourne+11,12)

Dusty AGN の中でも BluDOGs は高い Eddington 比を示す BluDOGs がスーパーエディントン降着段階にいることを示唆 -> クエーサーへと急速に成長中であると示唆される

### JWST-EROs と BluDOGs



Noboriguchi+23 JWST で見つかった Extremely red objects

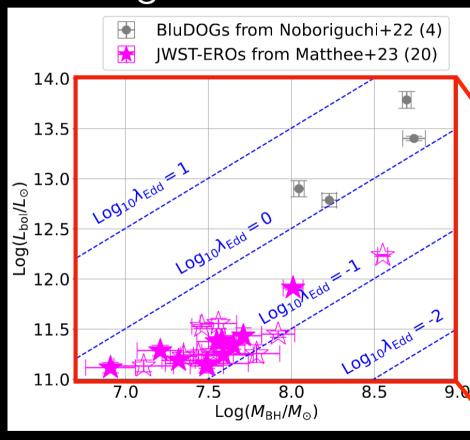
(JWST-EROs: z=5-7; e.g., Barro+23)

SED が非常に BluDOGs に似ている



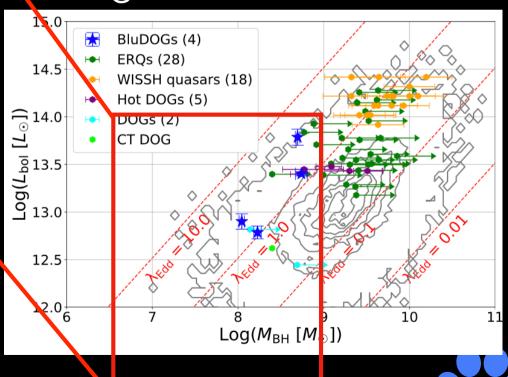
### JWST-EROs と BluDOGs

### Noboriguchi+23



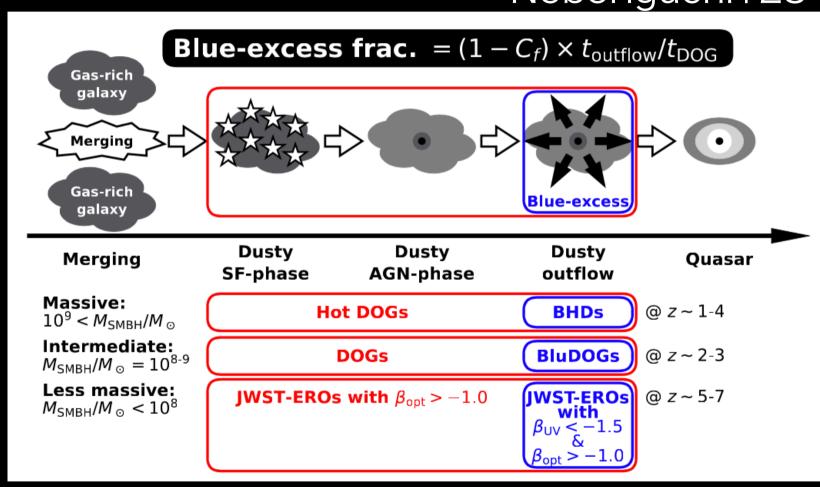
JWST-EROs はより低光度 $M_{
m SMBH}$ も小さめ

Eddington 比も小さめ



# Dusty AGNs のまとめ

Noboriguchi+23



これらは違う分布に見えるが質量 etc で 別サンプルになっているかも。。。



# High-z BluDOGs

- ・ JWST-EROs は BluDOGs より暗くて SMBH は軽い
  - -> 観測面積依存? 明るく Eddington ratio が高い BluDOGs は rare -> 広域探査で見つかりやすい
  - -> z~2 で JWST-EROs のような天体が見つからないのはおそらく観測限界。
    - -> 今後の MIR mission に期待
- ・JWST-EROs も high-z BluDOGs 候補だが断定は...
  - -> DOGs の criteria を high-z に持っていったものを 満たすかどうかがわからない
    - -> 今後の FIR mission に期待



# Summary

#### BluDOGs 5 年のまとめ

- ・HSC-WISE で BluDOGs を 8/571 発見した
- ・CIV と [OIII] 輝線プロファイルから 核付近から母銀河スケールに届くアウトフローがあることが示唆
- BluDOGs の SMBH 質量は CIV の値と一致した-> エディントン比 > 1 である
- ・JWST-EROs は BluDOGs に似た SED を示す
- ・BluDOGs や JWST-EROs 等は gas-rich major merger のシナリオの中で同じ進化フェイスを見ているかもしれない (mass 等は異なるが)

